

2026 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社 大和ネクスト銀行

代 表 者 代表取締役社長 下村 直人

2026 年 6 月末の自己資本比率（国内基準）

銀行法第 14 条の 2 の規定に基づく大和ネクスト銀行の経営の健全性の状況
（2026 年 6 月末）について、下記のとおりお知らせいたします。

記

（単位：％，百万円）

	2026年6月末 （速報値）	2026年3月末
単体自己資本比率（国内基準）	55.44%	21.90%
単体における自己資本の額	399,437	164,379
単体リスク・アセットの合計額	720,358	750,347
単体総所要自己資本額	28,814	30,013

（注）単体自己資本比率（国内基準）は、「銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成 18 年金融庁告示第 19 号）」に基づき算出しております。

自己資本の構成に関する開示事項

(単位：百万円、％)		
項目	2026年6月末 (速報値)	2026年3月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	403,060	168,076
うち、資本金及び資本剰余金の額	330,000	100,000
うち、利益剰余金の額	73,060	68,076
うち、自己株式の額(△)	—	—
うち、社外流出予定額(△)	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	71	73
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	71	73
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	403,131	168,149
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	3,694	3,770
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	3,694	3,770
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—	—
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	—	—
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る10%基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る15%基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	3,694	3,770
自己資本		
自己資本の額((イ)－(ロ)) (ハ)	399,437	164,379
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	612,572	642,561
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
マーケット・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	107,785	107,785
フロア調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	720,358	750,347
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)／(ニ))	55.44%	21.90%

以 上